

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年1月18日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年1月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【増設多核種除去設備(B)系クロスフローフィルタ(B)用高性能容器1元弁動作不良について】 増設多核種除去設備(B)系クロスフローフィルタ(B)用高性能容器1元弁ユニット8Bが、動作不良であることを確認。 現在は高性能容器2を使用中。	GⅢ
2	【既設多核種除去設備(A)循環ポンプ(1A)軸封用水漏えいについて】 循環ポンプ(1A)軸封用水が漏えい。軸封用水供給弁を閉止し漏えいは停止。 機器内部での漏えいであり、外部への漏えいなし。 現在、既設多核種除去設備は停止中。	GⅢ
3	【既設多核種除去設備(A)バッチ処理タンク攪拌機2Aインバータ盤上部変色について】 多核種除去設備信頼性向上対策作業において、既設多核種除去設備(A)バッチ処理タンク攪拌機2Aインバータ盤の扉を開けた際、インバータ上部カバーに変色があることを確認。 なお、異臭・発煙は見られなかった。	GⅢ